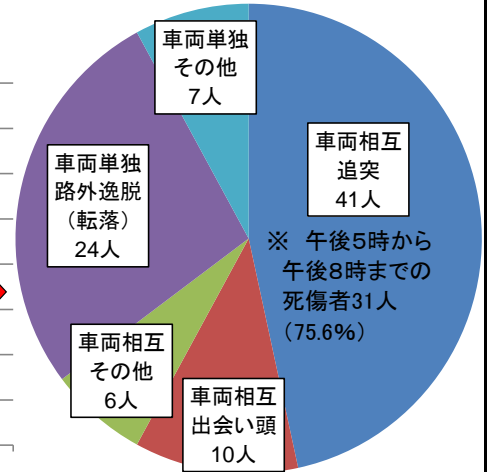
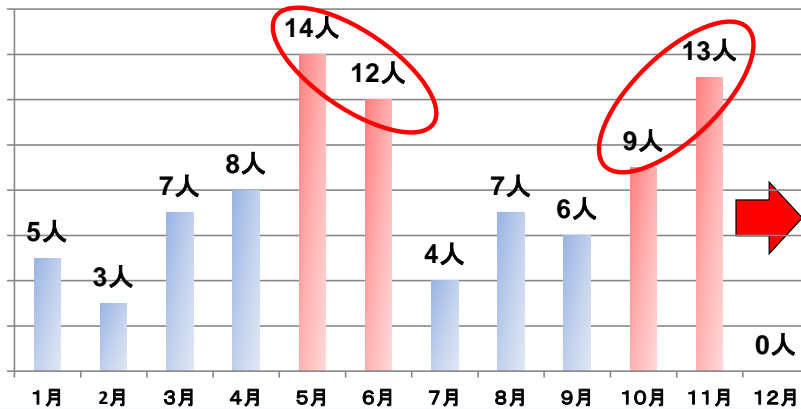




農繁期の交通事故防止 農作業車（トラクター）の事故に要注意!!

月別・農作業車運転中の死傷者数
(平成19年～平成28年)



過去10年間の兵庫県下における道路上での農作業車運転中の死傷者数は88人で、うち6名の方が亡くなっています。

月別の発生件数では、「5～6月」と「10～11月」の農繁期に事故が多発しています。

事故類型別では、「車両相互(追突)」と「車両単独(路外逸脱:転落)」で全体の約7割を占めています。

※ 交通事故統計の対象外ですが、道路外(田畑内)において、農作業車で死傷される事案も発生しています。

事故事例

追突



路外逸脱



トラクターの特性と事故防止のポイント

※ 公道を走行するには、道路運送車両法の保安基準の適合と車種に応じた運転免許(小型特殊自動車、大型特殊自動車)が必要です。

- 夜間は目立ちにくい(自動車等に追突される危険がある)。
 - ・ 夜間の事故防止のため、早めに作業を終了し、反射材を活用しましょう。
- ブレーキペダルが左右に分かれている(片輪だけブレーキがかかりバランスを崩す危険がある)。
 - ・ 公道を走行する際は、左右のブレーキペダルを確実に連結させましょう。
- バランスを崩した際に、路上に投げ出されるおそれがある。
 - ・ シートベルトを着用しましょう。
 - ・ 安全フレームの装着を検討しましょう。